

まちを歩けば、知り合いに出会う。外に出て一服している店主と「おはよう」と交わして、出勤する。まちのお花屋さんでお話してお花を一輪買って、近所のパン屋で明日のパンを買う。久しぶりにあったおじいちゃんに「今年の神輿は担ぐのか」と聞かれる。小さな酒屋さんでお酒を買う。農作業帰りの軽トラから声をかけられる。お裾分けをもらう。「お茶を飲んでいくか」と言われる。お茶請けには野菜も出てくる。小諸のなんてことない日常が、すごく輝いて見えたときめきを、観光で小諸に来た人にもシェアしたい。

そんな思いから、安価で気軽に宿泊できるゲストハウスをつくり、これまで小諸に少なかった県外からの若年層やインバウンド層に対して、ローカル観光案内所として王道の小諸観光に加えて新旧様々なお店からスナックの巡り方などをお伝えしたいと考えています。

また、小諸の人や観光客が交流できる場としてカフェとバーも併設。

自分自身が小諸に観光に来た時に感じた、朝食を食べる場所

まちの一角から、
新しい毎日を



コモロ株式会社代表
堺 大紀

小諸市地域おこし協力隊
岡山 千紗

が少ないという思いからモーニングの時間から営業します。パティタイムは、ワインとタップビールが楽しめます。テーブルワインや小諸のハードサイダーや、長野県内のクラフトビールなどを提供します。

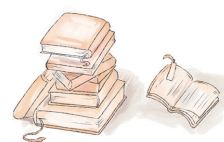
竹澤書店の文脈を組んだ中古書店である、上田市にあるバリユーブックスさんへ選書していただき、館内合わせて2,000冊ほどの本が並びます。電車の待ち時間や、待ち合わせ時間などにふらっとご利用いただけるとう嬉しいのです。

また、旧珈琲こもろ、旧四海波店舗は、チャレンジショップテナントとして貸し出します。マルシェからのステップアップや、小諸でのお店を開業する際にもご活用ください。

“小諸の日常と旅人たちの非日常が混ざり合い、
新たな物語が綴られる場所を目指して”

カフェ&バー

昼間は、本とコーヒーでくつろいでいただけます。お子さん連れでも安心して過ごせるように、小上がりスペースやオムツ替えスペースなども充実しています。夜はナチュラルワインとタップビールのお店になります。カジュアルに楽しめるワイン、クラフトビールやハードサイダーなどをタップでご提供します。



中古書販売

元々本屋さんだった文脈を生かして、中古書の販売も行います。上田市にあるバリユーブックスさんのご協力のもと、館内に2,000冊程度の本をご用意しています。

ホステル

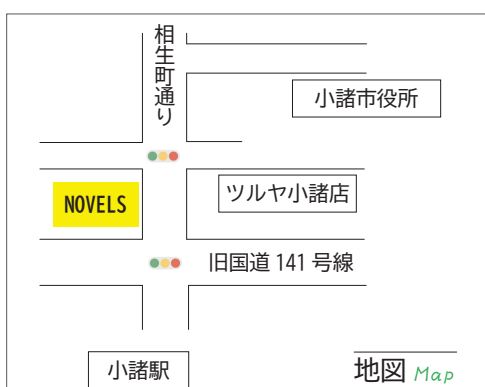
若者やインバウンド旅行者などが安く、気軽に泊まれる簡易宿泊所です。

チャレンジショップ

小諸で挑戦したい人のステップとして、飲食のチャレンジショップをテナントとして貸し出します。

NOVELS 基本情報 Information

- 運営企画 コモロノ株式会社
- ビルオーナー 株式会社スマイル小諸
- 代表
元 小諸市地域おこし協力隊 堺 大紀
- チーフマネージャー
小諸市地域おこし協力隊 岡山 千紗
- 住 所 小諸市相生町 2-1-3
- メール contact@komorono.co.jp



旧竹澤書店ビルから NOVELS へ

BOOK

元々本屋さんだった文脈を生かして、中古書の販売も行います。上田市にあるバリユーブックスさんのご協力のもと、館内に2000冊程度の本をご用意しています。

CAFE

昼間は、本とコーヒーでくつろいでいただけます。お子さん連れでも安心して過ごせるように、小上がりスペースやオムツ替えスペースなども充実しています。

Wine & Beer

夜はナチュラルワインとタップビールのお店になります。カジュアルに楽しめるワインや、クラフトビールやハードサイダーなどをタップでご提供します。

HOSTEL

若者やインバウンド旅行者などが安く、気軽に泊まれる簡易宿泊所

チャレンジショップ

小諸で挑戦したい人のステップとして、飲食のチャレンジショップをテナントとして貸し出します。

超ローカルまち案内

小諸の新旧様々なお店や、ハシゴにおすすめな夜のご飯屋さんやスナックなどもご案内

旧竹澤書店ビルは、 NOVELS に生まれ変わります

空きビルから、
まちなかの再生モデルへ

長年空きビルになっていた相生町の旧竹澤書店が、複合宿泊施設としてこの夏生まれ変わります。

相生町商店街の中心に位置する旧竹澤書店ビルは、築年数が50年以上であり、ビル全体が雨漏りなどで老朽化し、借り手がなかなか見つかりませんでした。

そのような中、小諸市地域おこし協力隊の岡山隊員が、ビルを借りてくれそうな事業者を案内していた際に、複雑な建物の構造に興味をもち、協力隊OBの堺さんとビルの活用を考え始めたところから、今回の計画はスタートしました。

相生町商店街のビルは、多くが築50年程度であり、建物は複数のオーナーが所有する区分所有の場合も多く、ビル全体としての活用が困難でした。

今回旧竹澤書店ビルは、所有者が株式会社スマイル小諸のワンオーナーになったことから収容補強工事が可能となり、活用方法の幅を広げることができました。

国（総務省）の補助事業であるローカル10,000プロジェクトを活用し、空きビルを活用した新たな関係人口創出のため、官民連携でのまちづくり拠点整備事業に取り組んでいます。

▼工事中の室内の様子（R6/6/11 現在）。
こちらのフロアはホステルとして利用可能です。



▲令和5年5月、建物を活用できないかとの思いから隊員たちで大掃除を行いました。